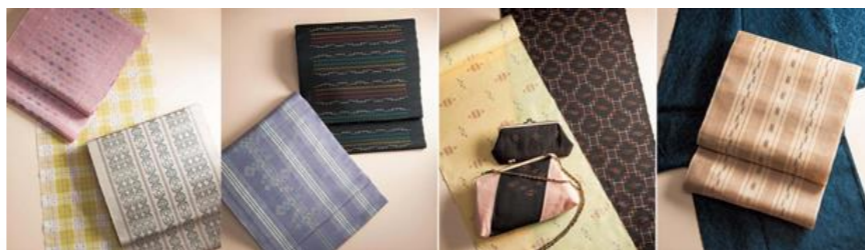


メルヘンハウス通信



ありがとう

今月の和とく情報

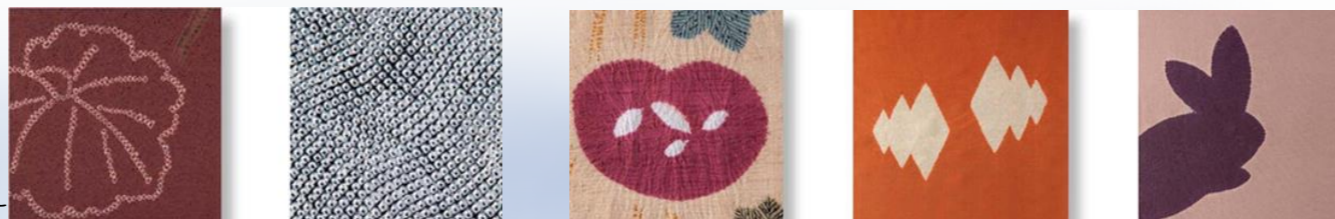
残暑のキモノ



短い9月の日々に着る着物について、基本的には単衣であることを年頭に置いてください。それから帯は単衣であるか、それほど重くない冬に使用する帯でも構いません。

これからの和とくポイント

9月に着る単衣



<上旬> 「9月の上旬に8月からの気温が下がらず真夏日が続く残暑の日」

このような夏日には夏の着物と同じ装いでも許されるでしょう。気温は30度を越える日には9月に入り約1週間位、5日かせいぜい10日まで夏の着物で出掛けても良いとは思いますが、これ以降は単衣にして暑いからといって夏の素材の着物を引きずらないで下さい。

<中旬> 「気温が20度台になり朝夕涼しく感じたら」

もう9月も中旬になる頃です。絶対に真夏の素材は着ないことです。透ける着物はもう着ません。単衣の着物で帯も単衣かもしくは塩瀬、または、やや軽い感じの袋帯を締めます。着物の格に合わせてください。

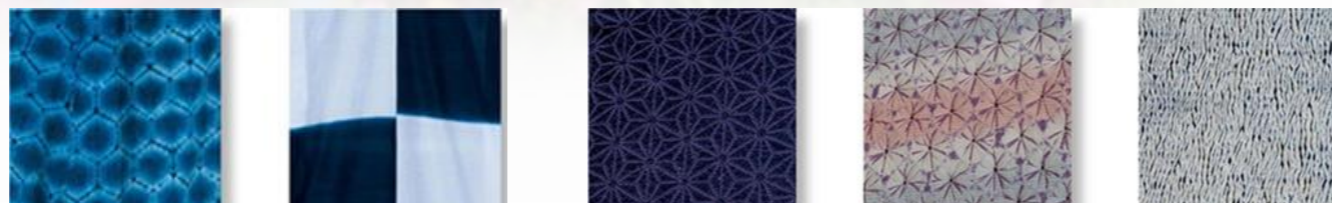
<下旬> 「秋の気配が段々と濃くなるころ、虫の鳴き声が聞こえます」

もうすぐ杳の季節です。単衣もやや地の厚い物を着ても良いでしょう。帯や着物の色も濃いめでも暑苦しくは見えません。凌ぎやすく絹の暖かみも肌に心地よい頃になってくるでしょう。夏の着物の手入れはこの頃には済ませてしましましょう。そして10月からの杳の準備に入ってください。

10月から杳と言うことですが、これも9月の上旬の考え方と同様で秋晴れの暑い日であれば10月いっぱい位までは単衣を着ていても良いと思います。つまり服で言えば半袖でいたくなるような日です。この頃までは晴天の日が比較的多いので、初秋の単衣一式を用意してあれば安心なのでぜひ心掛けてみてください。

どうも単衣は勿体ないと…なかなか思い切って着ず、杳にばかり仕立てる方が多いのですが、単衣を着る期間は昔より多くなっていますので、あればとても重宝です。涼しくなればとたんに着物は着るのが楽になります。

初秋から着物を楽しみましょう。



今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

9月の催事・イベント

◎今がチャンスセール18日(金)～21(月)

カルチャー

◎ポーセラーツ教室は先生のご自宅での開講に変更となりました。

さくらきもの学院

季節的に着物を着ることが遠ざかる夏が過ぎ、いよいよ伸び伸びと着られる秋!

着付けを習いませんか?教室へのご紹介者には「帯締めor帯揚げ」プレゼントいたします!

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

レッスンのお申込受付ます♪

・マイアプレッスン小矢部教室: 2,500円

・1dayレッスン: 500円/回

さくらきもの学院

着付け教室受講生募集中



受講生募集中...yoga教室

5日(土)17:30~ワソコイン体験レッスン実施

現在月1回の予定(申込受付中)



夕方に...
2階の会場を開放して
ヨガでリラックス!
*調整ヨガ
*整体ヨガ
など

